

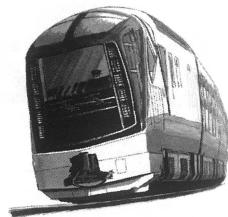
# 鉄道ピクトリアル

2018年9月号 Vol.68 No.9 通巻No.950

## 〈特集〉配給電車

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

## 今月の話題

■表 紙 新旧の配給電車……………三浦 衛・浜村正弘

(上)クモル145-8+クル144-8 大井工場 1981-5(三浦 衛)

(下)クモル24051+クル29000 津田沼 1977-9-7(浜村正弘)

## ■グラフ

### クモル・クルの世界(1~8ページ)

小林 武・三ッ谷政久・太田正行・岸 孝  
……………岡本忠士・日向 旭・内田隆夫・長谷川優一  
岡本博之・佐藤利生・森田 宏  
\*

クモル23・24、クル29形 全33両のバラエティ …構成：編集部… 30  
クモル145形・クル144形 ディテールウォッチング  
……………日向 旭… 46  
配91甲 東神奈川電車区へ来た配給電車 ………………三浦 衛… 49  
私鉄の「配給車」電動貨車・事業用車 Collection …構成：編集部… 52  
\*

Pictorial Color Gallery 岳南電車 富士山とともに ……松本 誠… 73  
[ 小田急電鉄LSEが定期運行を終了／東京急行電鉄2020系 ] 76~78  
[ に2018年度車が登場／近畿日本鉄道2013系「つどい」がリニューアル／JR東日本 鉄道博物館に新館がオープンほか ] 89・92  
各地の話題から ………………白川 淳… 79  
トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) ……………… 80  
京急・都営浅草線 相互直通50周年記念式典を開催…京急同趣会… 88  
JR貨物 愛知機関区ディーゼル機関車牽引貨物列車の近況  
……………安田 孝哉… 90  
ジャカルタの空港アクセス鉄道 ………………斎藤 幹雄… 93  
北朝鮮 平義線20年の移り変わり ……………… 94  
連載・昭和の鉄景(第21回) ………………椎橋 俊之… 96

## ■本文

今月の話題：配給電車 ………………編集部… 9  
お腹のあいた電車がいた頃 ………………岩成 政和… 10  
配給電車を追いかけた時代 ………………太田 正行… 22  
旧形配給電車ピックアップ ………………長谷川 明… 54  
クモル145・クル144形のあゆみ ………………平石 大貴… 65  
首都圏配給電車のダイヤ ………………日向 旭… 72  
\*

鉄道の話題 ………………編集部… 97  
絵葉書のなかの国鉄ローカル線(43) 長井線 ………………白土 貞夫… 98  
JR北海道マヤ35形 ………………池田 篤… 100  
ジャカルタの空港鉄道とスカイトレイン ………………斎藤 幹雄… 106  
北朝鮮 平義線の歴史と現況 (2) 沿線に見る20年間の変遷  
……………小牟田哲彦… 110  
書評(642)『地方私鉄1960年代の回想(上・下)』 ………………三木 理史… 117  
6月のメモ帳 ……………… 118  
読者短信・情報ファイル ……………… 119  
後部車から ……………… 123

## 配給電車

鉄道車両には鉄道事業を進めるための用途として使用されるさまざまな非営業車両がある。それらは大きく区分すると事業用車といわれる車両であり、本誌においては2012年9月号(No.866)で特集を構成した。事業用車両を細かく区分すると、職用車「ヤ」、救援車「エ」、そして配給車「ル」があり、職用車はさらに試験車や牽引車、教習車などに分類される。こうした事業用車の中から本号では配給車、主として電車にスポットを充ててみた。かつて東京、大阪圏の国電区間ににおいて、駅のホームで電車を待っていると中央部が無蓋構造になっている日ごろ馴染みのない変わった電車が通りすぎていった体験を記憶されている方も多いかと思う。配給電車は今日のJR各社では実質的にはすでに見られない用途の車両であり、その記憶も薄れがちであるが、記録しておきたい存在であることは間違いないところだ。

配給電車クモル・クルは東京では大井工場、大阪では吹田工場と管内の各電車区との間で、車両に関わる部品や資材の運搬を主な目的とし、戦前期からあった。ほとんどは改造車で、趣味的にいえばいわゆる「ゲテモノ」である。戦後長く国鉄時代の主力はクモル24、クモル23、クル29の3形式で、いずれも戦前製旧形国電の改造車であり、品川と高柳電車区に配置(1両は豊橋区)。大井、吹田の両工場に常置され、いくつかの行路により指定曜日に工場から各電車区を巡回して配送品を輸送していた。国鉄時代末期には新性能化されたクモル145、クル144が登場し、JR化後も継承されたが、次第に用途は縮小され、今日ではすでに過去のものとなっている。車両もほとんどが廃車済みであるが、JR西日本吹田総合車両所にわずかに1編成在籍しており、その行く末が注目される。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI  
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda  
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan